

バージョンアップユーティリティ操作説明書

対象製品

Comm Assist-CWA

Comm Assist-CX

Comm Assist-100X

Comm Assist-100XP

Comm Assist-io

Comm Assist-io-c,io-s

はじめに

本ツールは、株式会社 iND 製の製品（フラッシュROM対応のみ）本体プログラムをアップデートするためのものです。

このツールを使用して製品のアップグレードを行うためには、製品のバージョンアップファイルが必要になります。

バージョンアップファイルは、(株) iND ホームページ (<http://www.i-netd.co.jp>) にアップロードされています。

TCP/IP アップデートツールの説明

バージョンアップツールの使用方法について記述致します。

1. ファイルの保存

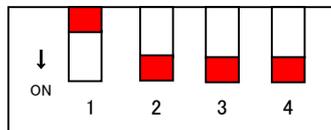
Windows で TCP/IP を導入しているパソコンに”ICSUPDT.EXE”及びバージョンアップファイルをコピーしてください。

例) `copy a:\icsupdt.exe c:\update`
`copy a:\xxx_xxx.bin c:\update`

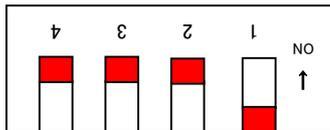
2. ディップスイッチ設定

ディップスイッチを **1-OFF 2, 3, 4-ON** に変更し、電源を入れ直して下さい。

例) バージョンアップモードのディップスイッチ (CommAssist-100XP)



例) バージョンアップモードのディップスイッチ (CommAssist-io)



バージョンアップモードに変更して電源を投入すると、次のLEDが点灯するか確認してください。

バージョンアップモード起動時のLED

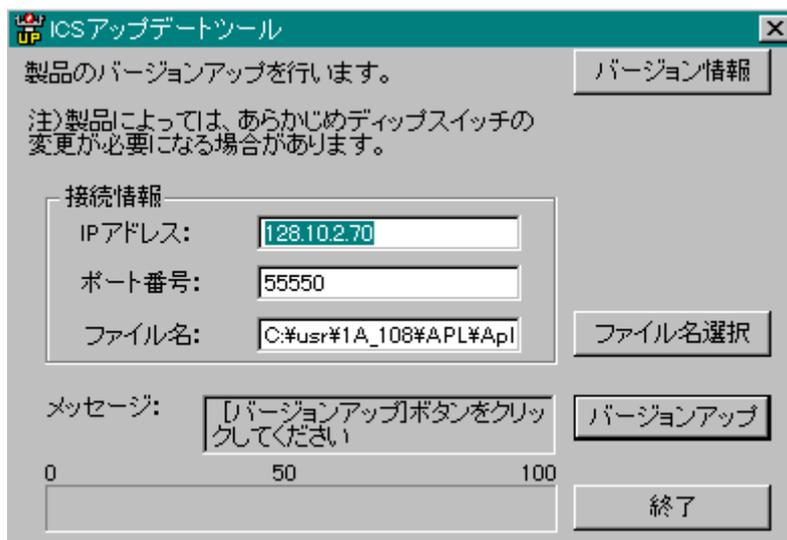
- **CommAssist-CWA**
 - D1 : オレンジ
 - D2 : 緑
- **CommAssist-CX/100X/100XP/io/io-c,io-s**
 - NET : オレンジ
 - MON : 緑

3. “Ping” コマンドを使用して、製品に接続確認を行って下さい。
例) MS-DOS プロンプト上から ping コマンドを実行します。

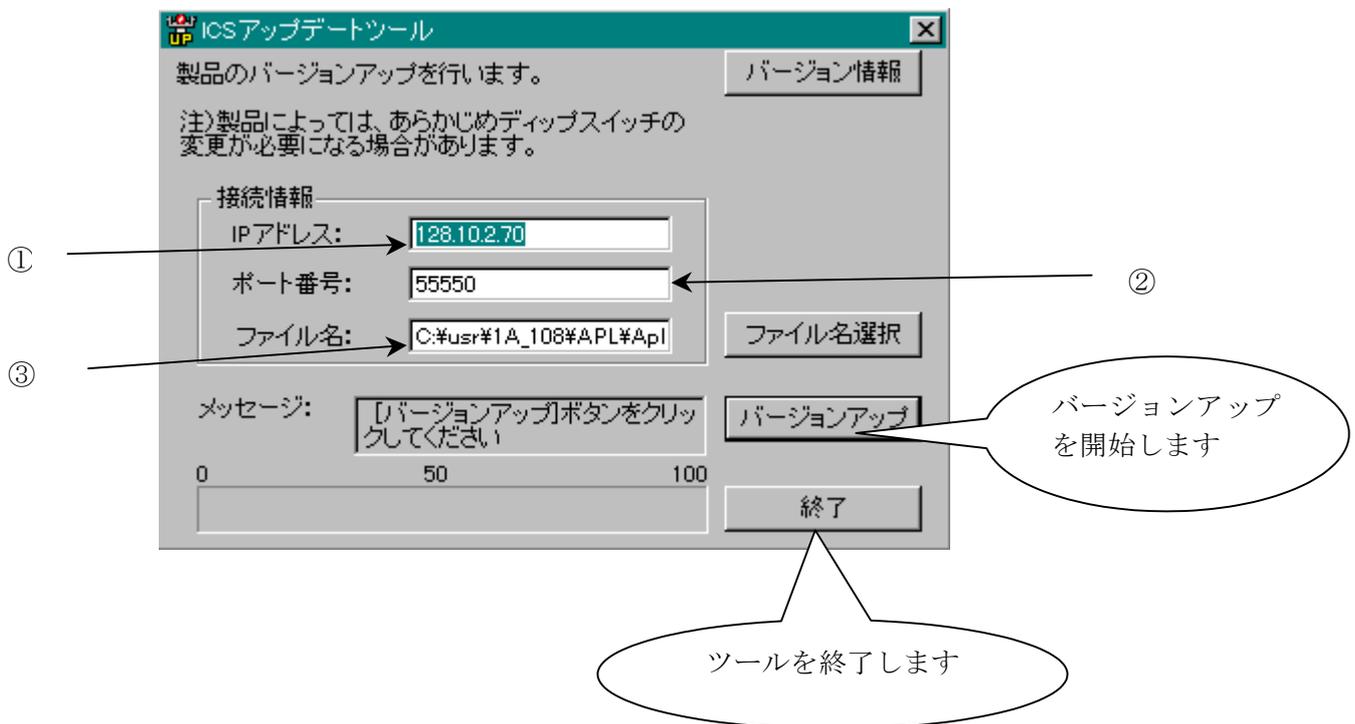
```
C:\WINDOWS>ping 128.10.6.5
Pinging 128.10.6.5 with 32 bytes of data:
Reply from 128.10.6.5: bytes=32 time=12ms TTL=120
Reply from 128.10.6.5: bytes=32 time=6ms TTL=120
Reply from 128.10.6.5: bytes=32 time=5ms TTL=120
Reply from 128.10.6.5: bytes=32 time=7ms TTL=120

Ping statistics for 128.10.6.5:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 5ms, Maximum = 12ms, Average = 7ms
```

4. ICSアップデートツールを起動して下さい。
起動方法) スタートメニューから『ファイル名を指定して実行』を選択してください。
”ICSUPDT.EXE”を実行して下さい。
実行すると次の画面が表示されます。



5. メニューの説明を以下に記述します。



① IPアドレス …製品に設定している IP アドレスを入力して下さい。

②ポート番号 …製品名を設定してください。
“55550”を設定してください。

③ファイル名 …バージョンアップを行うファイル名を設定してください。
また、ファイル名選択ボタンでファイル参照することができます。
バージョンアップファイル名の形式は以下のようになっております。
例)

CommAssis-CWA	CommAssist-CWA2_xxx.bin
CommAssist-CX	CommAssist-CX_xxx.bin
CommAssist-100X	CommAssist-100X_xxx.bin
CommAssist-100XP	CommAssist-100XP_xxx.bin
CommAssist-io	CommAssist-io_xxx.bin
CommAssist-io-c,io-s	comio-c_rom_xxx.bin
	comio-s_rom_xxx.bin

※ xxx…バージョン名です。

※ CommAssist-io-c,io-s は、バージョンアップファイルが 2 種類あります。
製番ラベルの型式に合わせてバージョンアップファイルを選択してください。

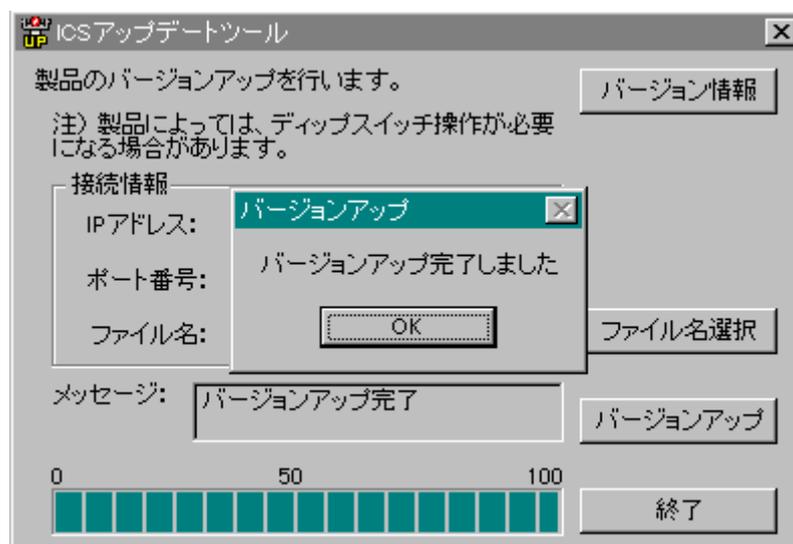
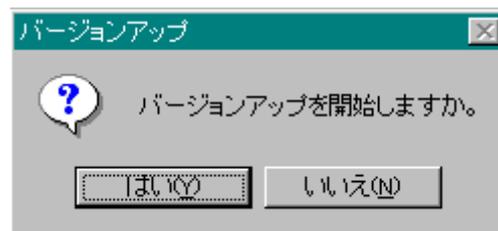
型式	ファイル名
CommAssist-io-c	→ comio-c_rom_xxx.bin
CommAssist-io-s	→ comio-s_rom_xxx.bin

ファイル参照画面



6. バージョンアップ方法

IP アドレス／ポート番号／ファイル名を設定後、バージョンアップボタンを押して下さい。
バージョンアップボタンを押すことで、確認メッセージ表示後にバージョンアップが開始されます。
バージョンアップ時はプログレスバーがカウントされます。



7. バージョンアップ完了後の操作について以下に記述致します。

ディップスイッチを通常的位置（以下参照）に戻し、電源を入れ直して下さい。
telnet または IP 設定ツールでバージョンを確認してください。

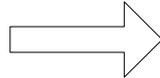
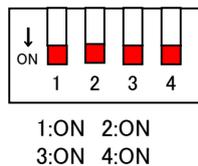
ディップスイッチ

・全部 **OFF** にしてください。

バージョンアップを行った場合、元のバージョンによっては電源再投入後、NV_RAM エラー（取扱説明書を参照）が発生する場合があります。この時は下記に示す操作を行ってください。

1. 工場出荷時モードで工場出荷値の再書込を行ってください。

工場出荷時モードはディップスイッチを下記のようにしてください。



ディップスイッチを左図のようにした後、電源を ON にすると NET(D1) ランプが約 6 秒間、橙点灯します。工場出荷値書き込みが終了したら NET (D1) ランプが消灯します。

工場出荷値の再書込が終了した後、運用モード（ディップスイッチを**全部 OFF**）で運用してください。

ただし、設定値は工場出荷値になっていますので、初期設定を行う必要があります。

アンインストールについて

IND アップデートツールは、INI ファイルを Windows ディレクトリに作成します。
アンインストールする場合は、次のファイルを削除してください。

削除するファイルについて

- ICSUPDT.EXE
- ICSUPDT.INI
- バージョンアップファイル